

令和7年度 第4回 越前市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時	令和8年2月4日(水)14:00～16:00
場所	越前市役所3階 第3委員会室
議題	別添「次第」のとおり
出席者	別添「配席図」のとおり

◆開会

発言者	内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・越前市地域公共交通活性化協議会規約第7条第2項の規定により、委員の過半数が出席しており、会議が成立することを報告する。 ・同条第4項の規定により、会議は原則公開としている。本日の会議についても公開する。 ・武田眞一委員、藤原恒裕委員、黒川隆次委員が欠席である。また、橋本真樹委員の代理として池田氏、坂上寿浩委員の代理として野坂氏、中出博行委員の代理として清水氏に代理出席いただく。

◆部長あいさつ

発言者	内容
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より本市の交通行政にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。 ・3月14日には、ハピラインふくい「しきぶ駅」の開業が予定されており、本市が行う駅前広場工事も2月末には完成予定である。 ・また、商工高校の生徒による駅前広場に設置する周辺の案内看板も、着々と進んでおり、しきぶ駅を拠点とした新たな交通の流れができるものと期待している。 ・本日の会議では、本年度の取り組み内容に関する越前市地域公共交通計画の中間報告のほか、令和8年度に向けた市民バスの再編や地域支えあい交通の運行拡充について協議を予定している。今後の方向性についての重要な会議であるため、忌憚のないご意見をいただきたい。

◆会長あいさつ

発言者	内容
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は報告事項8件、協議事項2件、その他2件と議事が多いが、委員の皆様にはそれぞれの立場から率直的な意見や建設的な意見を求める。

◆報告事項 (1) 市内公共交通の利用状況について
(2) 市民バスの再編について

発言者	内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 P2 予約のりあいタクシーについて、利用者数は増加していると思うが、車両台数は足りているのか。運行が毎日でなく不便、予約が取れないという声を聞いている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・通院時間やお昼前後など時間帯によって予約が取りにくいこともあるが、4 台フル稼働で運

委員	<p>行している。今回実施するアンケートで利用者の実態を踏まえて、台数や運行曜日を調整したい。</p> <p>・資料 P4 路線バスについて、利用者から「福祉バス制度を毎日使えれば便利」という声を聞く。また、制度を知らない利用者もあり、運転手も制度の案内を行っている。財源との問題もあると思うが、曜日の拡充や周知活動を行っていただきたい。</p>
会長	<p>・免許返納時に周知活動はしているか。</p>
事務局	<p>・過去の経緯を申し上げますと、市民バスのろっさは週 2 日運行しているため、運行していない曜日を福祉バス制度により、市内区間を 100 円で移動できるように曜日を設定した。曜日を増やすことについて意見をいただいているので検討したい。</p> <p>・周知については、免許返納時や広報等で引き続き行っていく。</p>

◆報告事項（3）自動運転実証事業について

発言者	内容
	資料に基づき、事務局より説明
会長	<p>・自動運転事業への参加自治体は令和 7 年度に 100 ほど、令和 8 年度は 40 ほどとなる見込みである。継続の難しさや補助要件の厳しさが考えられる。</p> <p>・まちづくりの中でしっかりと位置付けて前進させていくことが重要である。</p>
委員	<p>・遠隔操作室が異常な暑さであった。今後改善されるか。</p>
事務局	<p>・選挙と重なり、適所が確保できなかった。今後は市民の方に見ていただきやすく、環境のいいところで行う。</p>
会長	<p>・ブレーキの改善は行われたか。</p>
事務局	<p>・令和 6 年度の実証事業で使用した車両より高性能な車両を使用したため改善された。</p>
会長	<p>・令和 8 年度の運行は決まっていないが、毎年乗車することで自動運転がまちづくりにどう活用できるかという考えを広げることができる。</p>
委員	<p>・バス業界としては運転士不足により地域公共交通を支えていくのが難しい状況になっている。その中で自動運転を早く進めていただきたいと国へ要望している。国は予算を組み、27 年度本格運行の条件付きの補助金を示した。資料 P10 のロードマップでは 29 年度本格運行しているが、運転士不足の現況を踏まえて前向きに進めてほしい。</p>
事務局	<p>・自動運転車両の開発状況やシステムなど本市に合ったものを検証したい。市長交代のタイミングでもあるので新市長と話し、進めていきたい。</p>

◆報告事項（4）越前市地域公共交通計画の進捗状況について

発言者	内容
	資料に基づき、事務局より説明
会長	<p>・計画の進捗は評価指標によって毎年度チェックしていく。計画を常に見て、漏れている施策や進めてほしい施策があれば会議の場で発言してほしい。</p>
委員	<p>・越前たけふ駅の乗客数を示してほしい。</p> <p>・越前たけふ駅からの二次交通が予約のりあいタクシーとタクシーだけでは不十分である。シャトルバスも 1 年運行したが、1 年で打ち切られると困る。3 年ぐらいは運行し、1 年目で利用者が伸びないのであれば利用促進を行うべきである。</p>

事務局	・越前たけふ駅での乗客数は引き続き JR 西日本へ公表をお願いする。
事務局(関係課)	・二次交通については、タケフナイフビレッジや和紙の里などの観光施設から強い要望がある。令和 8 年度は定額で観光タクシーの実証事業を行う予定である。
委員	・タクシーが捕まらないという声もあり、需要と供給のバランスも考えられる。実証実験を踏まえて観光客に利便性の高い事業を検討したい。
事務局	・観光二次交通の必要性もわかるが、市街地への二次交通も必要でないか。
委員	・越前たけふ駅周辺では村田製作所の研究施設が建設され、就業が始まれば本社への移動需要が発生する可能性があり、従業員と市民の混乗便なども検討したい。その他スクールバスなどの混乗も検討していきたい。
委員	・観光タクシーで越前たけふ駅と観光施設をつなぐとのことだが、観光施設から次どこにつながっているのか。市内の観光周遊後は宿泊していただくのではないか。観光客に越前市で何をしてほしいのか、そのためにどのような公共交通手段を作るべきなのか、整理して考える必要がある。
会長	・地域交通と観光交通を別々に考えるのではなく、全体像としてどうあるべきかを組み立てる必要がある。
事務局	・交通の一部に観光があり、市民生活のための交通が大部分を占め、それが大事だと認識している。それぞれの交通モードの課題も把握している。複数の交通を組み合わせる中で、それらを補うためにはどうすればよいか、今後も引き続き検討していく。協議会からもご意見いただきたい。
委員	・来訪者のうち、どれくらいの割合の方が観光で来られているのか。
事務局(関係課)	・タクシーが足りないという話があったが、どこでそのような声があるのか。
委員	・肌感覚ではあるが、新幹線利用者はビジネスマンが多く、観光客は一握りである。観光という面だけでタクシーが足りないのではなく、ビジネスマンを通じてタクシーが捕まらないことがあったという声をいただく。タクシーは足りているが捕まらないということであれば、配車のタイミングがかみ合っていない可能性もあるので、観光施設や交通事業者と情報交換をしながら最適化を行いたい。
事務局	・資料 P16 評価指標 8 について、公共交通に関する意識啓発活動を令和 7 年度 12 月時点で 52 回行っているが、対象者はどのような方が多いか。
委員	・免許保有をしている高齢者は返納後に公共交通を利用すると言うが、おそらく乗らない。「乗り方がわからない」「どこに着くか分からない」など不安があったり、いまさら人に聞けないなどの思いがある。1 回乗ってもらうことで便利さを感じていただき、免許返納にもつながる。
事務局	・訪日外国人関係の観光の足の確保について、補助等もあるので相談してほしい。
委員	・対象者は高齢者が中心である。高齢者以外の場合、高齢者を見守る立場の支援団体等から申し込みがある。
会長	・免許返納前の方に対しても、乗り方教室のような体験会を実施したいと考えている。
事務局	・やはり JR 西日本に新幹線利用者に関するデータを公表してほしい。新幹線利用者に限らず、タクシー利用者等などのデータに基づいて、政策を考えるべきである。
会長	・利用者数は必ず春に報告しているが、口頭のみの場合もあるので、事務局が事前に資料を作成して提示していただければよい。

◆報告事項 (5) 地域交通に関するアンケート実施について

(6) デマンド交通の愛称募集について

発言者	内容
	資料に基づき、事務局より説明
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート案については議論しないのか。 ・この協議会の場では時間がなく議論までできないが、アンケート発送まで時間があるため、意見をいただければありがたい。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今、アンケート案について質問してもよいか。 ・お願いする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度を聞くことに意味はあるのか。どこに不便さを感じているのかを引き出すことで今後の改善につながるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・予約のりあいタクシー利用経験者にアンケートを行うにも関わらず、利用しない理由を聞いている設問がある。 ・予約をキャンセルしたことがあるかという設問があるが、そもそも予約までたどり着いていない人は多いのではないか。また、予約方法によっても変わるのではないか。電話予約では予約が成立しやすく、Web 予約では成立しづらいのではないか。 ・他自治体では、同じ方向・時間帯に配車をしてしまい非効率になっている事例を聞く。運行事業者にヒアリングし、実態を把握すべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・予約のりあいタクシー利用経験者に利用しない理由を聞く理由について、前の設問で利用頻度を聞いており、「以前は利用していたが利用しなくなった」という選択肢を用意している。これを選択した利用経験者に「利用しない理由」を問いたいため設定した。表現の仕方が分かりにくいので修正する。 ・予約不成立については、アンケートでは問わないが、予約のりあいタクシーシステムにて抽出するため、データを精査、検証したい。 ・アンケート結果については、次回以降報告したい。また、運行事業者やシステム会社と定期的に意見交換を行っているので、引き続き実態の把握を行いたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者は約 2,100 人、利用経験者は 593 人であり、利用者は大事であるが、アンケートは転換を促す意味でも、登録者全員に配布してみてもどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの方で、予約のりあいタクシーの登録者、未登録者の現状を把握したいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートも 65 歳以上や高校生のみと限定的になっているので、Web アンケートだけでも母数を広げてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの対象者は 65 歳以上や高校生のみとのことだが、今後、小・中学生の地域移行の動きを進めていく流れの中で、市として移動を市民バスや自動運転、予約のりあいタクシーで手助けできるのか、トータル的にどう支えていくのか、検討を進めてほしい。小・中学生が学校で習ったことを父兄へ伝達することもたくさんあるため、機会を作ってほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・Web アンケートなど電子媒体の情報は、情報を取りに行こうと思っている人には便利だが、その気のない人には届かない。機会があれば紙配布も検討してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかには市民バスのろっさしか移動手段がなく、非常に大変である。タクシーは以前より捕まりやすくなった。市民アンケートを行った時、まちなか在住の方からどのような意見が出てくるのか、集計時に思いが違うのではないか。

◆報告事項 (7) 路線バス『池田線』のダイヤ改正について
 (8) 路線バス『高校線(武生商工線)』の減便について

発言者	内容
委員 事務局	資料に基づき、事務局より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・武生商工線の減便後、朝1便を残す理由は。 ・増便前の便数に一度戻し、利用者動向を注視したいと伺っている。

◆協議事項 (1) 市民バス循環南ルート of 路線延長及び停留所移設について

発言者	内容
	資料に基づき、事務局より説明 原案のとおり承認

◆協議事項 (2) 地域支えあい交通の拡充について

発言者	内容
委員 事務局	資料に基づき、事務局より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・白山地区住民であるかどうかは何で確認するのか。 ・利用者は事前に登録を行っており、住所で確認できる。事業への参加者も事前申込のため、白山地区住民か否かは事前に確認できる。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸支局に伺いたいですが、割引により利用者に運賃の差が生じることは問題ないか。 ・混乗もあり運賃差が出てはならないため、一律往復2,000円、高校生以下1,000円とし、割引にて白山地区住民を500円、割引分は市が負担するという形にした。
委員 委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・割引引くことが差別的にならないか。 ・割引という表記を変更して、利用者が混乱しないように整合性をとる必要がある。 ・ユニークな取組のため、今後の効果検証を期待したい。 原案のとおり承認

◆その他 (7) しきぶ駅開業について
 (8) 越前たけふ駅パークアンドライド駐車場について

発言者	内容
会長 委員 委員	資料に基づき、ハピライン・事務局より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ハピラインふくいにとっては第一号の新しい駅となる。周辺の公共交通が変わっていくのはいいか。 ・資料 P2下りホームの写真について、跨線橋を使わず線路内を渡るのか。なぜこの構造になったのか理由があれば教えてほしい。 ・安全な利用方法を周知する。 ・運輸支局(との調整)や費用的な面で現在の構造となった。一度改札を出て跨線橋を使うこともできるので周知方法は検討したい。

委員	・しきぶ駅の利用者はどのくらい見込んでいるのか。
委員	・バリアフリーは対応しているのか。
会長	・駅ホームについては、新駅を作る際、バリアフリーに対応する基準があり、対応している。
委員	・1日あたり乗降客数570人を見込んでいる。
事務局	・一応最小限で最大の効果が得られるような設計になっているということ。
委員	・越前たけふ駅駐車場の有料化について、どのような形で検討しているか。
事務局	・公共交通の利用者、特に新幹線利用者への割引を検討している。ゲートの機種によって割引方法が変わってくるので、併せて検討する。また高速バス利用者の割引も行う方向で調整している。
委員	・過去の協議会で指摘したが、武生駅前のバス停留所に地図がない。普段利用しない人にはわかりにくいのではないか。
会長	・再編期間ということもあるが、最善を尽くしてほしい。

◆その他、意見・質問

発言者	内容
事務局	・次回の協議会は令和8年6月を予定している。